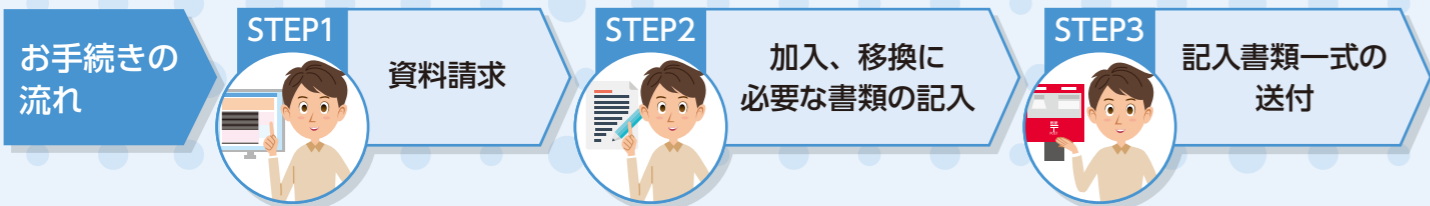


# iDeCoを始めるにあたって



加入をご希望される方は、資料請求をお願いします！  
iDeCoの詳細な情報や運用商品についてご確認いただけます。

## 加入までの流れ



加入申込書類を含むより詳しい資料をお渡しします



株式会社七十七銀行(受付金融機関)は、日本生命保険相互会社(運営管理機関)から個人型確定拠出年金の加入・移換の申出に係る資料等の配布、加入者等に対して行う資産の運用に関する基礎的な資料の提供に関する事務について委託を受けています。

## 資料請求されるみなさまへ

★iDeCoをご利用いただくにあたり、お立場により一定の手数料※1が発生します。

	加入者(掛金を拠出する方)	運用指図者(掛金を拠出しない方)
加入時※2	初回のみ2,829円(税込)	
運用期間中	運営管理機関(当社) 月あたり※3 319円(税込)	運営管理機関(当社) 月あたり319円(税込)
	事務委託先金融機関 月あたり※3 66円(税込)	事務委託先金融機関 月あたり66円(税込)
	国民年金基金連合会 掛金拠出1回あたり 105円(税込)	
負担方法	掛金から負担	個人別管理資産から負担

※1 この他にもご負担いただく手数料が発生する場合があります。詳細は、資料請求後に届くお手続き書類(スタートガイド)にてご確認ください。

※2 iDeCoにご加入される時にご負担いただきます。(運用指図者として移換する場合を含みます。)

※3 掛金の拠出区分期間(加入者の任意で月単位で掛金拠出単位期間を区分した期間)の月数分の手数料をまとめてご負担いただきます。

★iDeCoは、加入者のみなさまがご自身の判断でどのような運用商品を選択するかを指示(運用指図)し、資産運用を行っていただく制度です。運用結果によっては掛金元本を下回ることがあります。

★iDeCoは、原則60歳前での中途解約(脱退)はできません。ただし一定の要件を満たした場合に限り、脱退一時金の受給が可能です。詳細は、資料請求後に届くお手続き書類(スタートガイド)にてご確認ください。

★給付は原則60歳以降の受取りになります。ただし、60歳時点の加入期間(通算加入者等期間※1)が10年未満の場合、通算加入者等期間により、受取開始年齢が上げられます。

※1 確定拠出年金における加入者※2もしくは運用指図者※3であった期間の合計。他の企業年金制度や退職金制度から資産の移換を行った場合には、その算定の基礎となった期間を含みます。

※2 掛金を拠出しながら、資産の運用を行う方

※3 掛金を拠出せず、これまで積立した資産の運用のみを行う方

### ■通算加入者等期間と受取開始年齢

通算加入者等期間	受取開始年齢	
10年以上	60歳～	遅くとも70歳から受取り
8年以上10年未満	61歳～	
6年以上8年未満	62歳～	
4年以上6年未満	63歳～	
2年以上4年未満	64歳～	
1カ月以上2年未満	65歳～	

日本-DC基-202012-0181-F

はじめよう!自分のための年金積立て!

(受付金融機関) **77 七十七銀行** BANK

# iDeCoのご案内



iDeCo普及推進キャラクター「イデコちゃん」

iDeCo(個人型確定拠出年金)は、税制優遇を受けながら効率よく老後の資産形成ができる制度です。是非、この機会に加入を検討してみましょう。

そもそもなんで今、iDeCoが必要なの?

自分らしいセカンドライフを送るには、備えが必要だからです!



60歳以降の平均余命は男女ともに20年越え!



出典 ※1 生命保険文化センター「令和元年度 生活保障に関する調査」  
※2 令和2年版 厚生労働白書(平均的な収入(平均標準報酬(賞与含む額換算)43.9万円)で40年間就業した場合に受け取り始める年金(老齢厚生年金と2人分の老齢基礎年金(満額))の給付水準です。)

誰でも始められるの?

ほとんどの方がご利用可能です。ただし掛金(積立金)にそれぞれ上限があります!



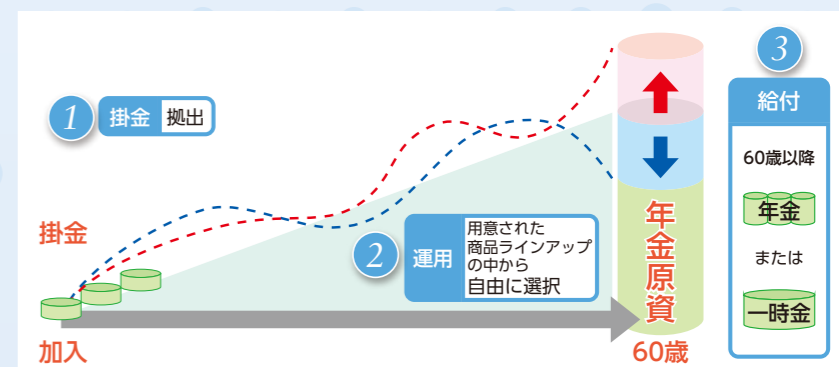
### iDeCo(個人型確定拠出年金)の加入範囲

iDeCo	第1号被保険者	第3号被保険者	第2号被保険者	
	自営業者等	専業主婦(夫)等	企業年金等※1に加入していない方	企業年金等※1に加入している方や公務員・私学共済加入者の方
拠出限度額	年額81.6万円 *国民年金基金との合算枠	年額27.6万円	年額27.6万円 ※2	年額24.0万円※3 または 年額14.4万円※4
3階				企業年金等※1
2階	国民年金基金 *iDeCoと重複加入可能		厚生年金保険	
1階	国民年金(基礎年金)			

※1 企業年金等とは企業型確定拠出年金、確定給付企業年金等。  
(注)企業型確定拠出年金に加入している場合、規約でiDeCoへの加入を認めている場合(注)のみ加入可能。  
※2 拠出限度額は加入者掛金の額と中小事業主掛金の額の合計で判定します。  
※3 企業年金等(※1)に加入している方のうち、「企業型確定拠出年金にのみ加入している方」の額。  
※4 企業年金等(※1)に加入している方のうち、「企業型確定拠出年金にのみ加入している方(※3)以外の方」の額。(公務員・私学共済加入者もこちらに含まれます。)

iDeCoってどんな仕組みなの?

「掛金」「運用」「給付」の3つの仕組みがあります!



# iDeCoのメリットは 3つの税制優遇!!



はじめることで受けられる3つのメリットがあります

1

掛金が全額  
所得控除になる!



「小規模企業共済等掛金控除」の対象となるため、所得税・住民税の軽減効果があります。

2

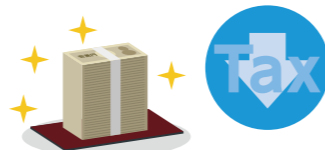
運用益が  
全額非課税!



一般的な金融商品は運用益に課税されますが、iDeCoでの運用益には課税されません。  
※年金資産に対して別途、特別法人税が課税されますが、現在は課税凍結中。

3

受取り時も  
所得控除が使える!



年金受取りの場合は「公的年金等控除」、一時金受取りの場合は「退職所得控除」が適用されます。  
※控除の非課税枠には上限があります。

例えば、毎月5,000円の積立てをするだけで、  
年間18,000円の所得税、住民税の支払を軽減することが可能です!



会社員

毎月2.3万円の  
積み立てをした場合  
年間82,800円の  
税軽減が可能!

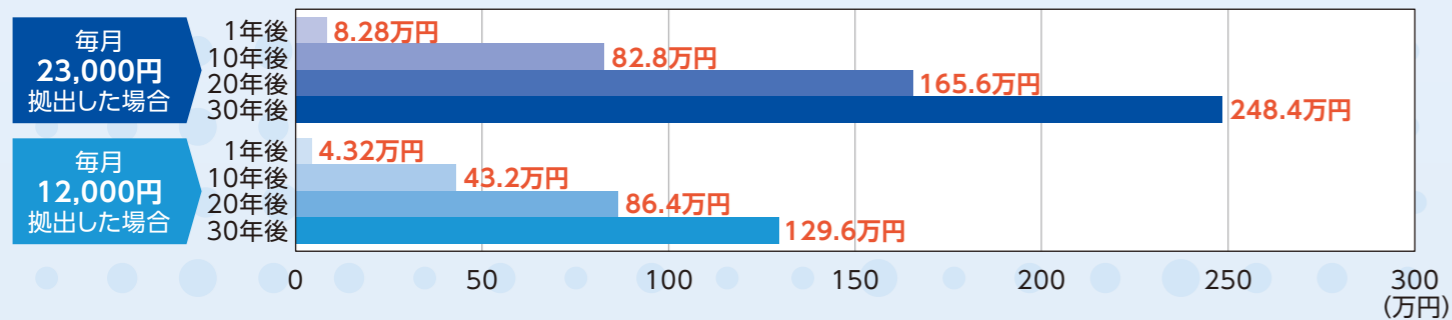


公務員

毎月1.2万円の  
積み立てをした場合  
年間43,200円の  
税軽減が可能!



## ■所得税・住民税の軽減効果



\*税率は所得税20%、住民税10%と仮定して計算。

\*税軽減額には、復興特別所得税や税額控除等は考慮していません。

\*税務の取扱い等については、2021年1月1日現在の税制・関係法令等に基づいており、今後、変更される場合があります。

個別の税務の取扱いについては所轄の国税局・税務署等や顧問税理士にご確認ください。

# ニッセイのiDeCoの 特徴は?



ニッセイのiDeCo 4つのうれしいポイント

1 お得な  
価格優待サービス

ショッピングや映画などご利用いただける  
価格優待サービスをご用意しております。



2 低コストの運用商品が  
豊富

投資信託を中心に、初心者から上級者のニーズ  
をカバーしております。



運用手数料  
(信託報酬)は  
0.132%~!\*

\*消費税込み(2020年12月時点)。  
\*信託報酬は予告なく変更する場合があります。

3 頼りになる  
ロボアドサービス

8つの質問に答えるだけで、一人ひとりに適した  
運用割合をアドバイスいたします。



ここからアクセス!



4 初心者でも安心!  
専門家が丁寧にサポート!

DCプランナーやファイナンシャルプランナーの  
資格保有者などの専門人材がさまざまな疑問  
や悩みを解決します。

安心・  
安全の  
サポート!



より詳しくiDeCoのメリットを知りたい方やシミュレーションをしたい方などは、ニッセイの  
iDeCoのオフィシャルHP (<https://www.nissay.co.jp/kojin/shohin/401k/>) で確認いただけます。